

1.	④	11.	②	21.	②	31.	④	41.	③
2.	②	12.	③	22.	②	32.	①	42.	②
3.	②	13.	②	23.	④	33.	④	43.	①
4.	③	14.	④	24.	④	34.	①	44.	②
5.	③	15.	④	25.	④	35.	③	45.	④
6.	④	16.	④	26.	①	36.	②	46.	④
7.	④	17.	①	27.	②	37.	②	47.	①
8.	③	18.	②	28.	③	38.	③	48.	②
9.	④	19.	④	29.	②	39.	②	49.	③
10.	③	20.	④	30.	①	40.	①	50.	③

1.

解答 ④

【解説】

正解は④「other」で、「ほかの」という意味です。いくつかあるうちの、今話題にしているもの以外のものを指します。①「another」は「もう一つの」という意味で、後ろには単数形の名詞が来ます。

2.

解答 ②

【解説】

正解は②「(離れて)」です。「off」は、何かにくっついていた状態から「離れる」イメージを持つ言葉です。「turn off a light (電気を消す)」や「take off a jacket (上着を脱ぐ)」のように使われます。①「(くっついて)」は on です。

3.

解答 ②

【解説】

正解は②「(疑問文で) 何か、(否定文で) 何も」です。「anything」は、主に疑問文や否定文で使われます。肯定文で使われる④「something」との使い分けが大切です。①「すべて」は everything、③「誰か」は someone や anybody です。

4.

解答 ③

【解説】

正解は③「special」で、「特別な」という意味です。他とは違って重要であったり、特別扱いされたりする様子を表します。他の選択肢は、①「usual」が「いつもの」、②「same」が「同じ」、④「normal」が「ふつうの」という意味です。

5.

解答 ③

【解説】

正解は③「really」で、「本当に」という意味です。形容詞や動詞などを強調する働きがあります。①「very」も「とても」という強調の言葉ですが、「really」はより「事実として」という気持ちが強いです。②「always」は「いつも」、④「maybe」は「たぶん」という意味です。

6.

解答 ④

【解説】

正解は④「高価な」です。「expensive」は、値段が高いことを表す形容詞です。①「安い」は cheap、②「大きい」は big や large、③「重い」は heavy を使うのが一般的です。

7.

解答 ④

【解説】

正解は④「between」で、主に二つのものの「間に」という意味です。①「among」は三つ以上のものの「間で」という意味で使います。他の選択肢は、②「beside」が「～のそばに」、③「around」が「～の周りに」という意味です。

8.

解答 ③

【解説】

正解は③「もう一つの、別の一つの」です。「another」は「an + other」がくっついた言葉で、すでにあるものに加えて「別のもう一つ」を指します。後ろには単数形の名詞が来ます。①「ほかの」は other、②「どちらか一方の」は either、④「両方の」は both です。

9.

解答 ④

【解説】

正解は④「only」で、「～だけ」や「たった」という意味です。物事や範囲を限定するときに使います。①「just」も「～だけ」という意味がありますが、より口語的な表現です。②「also」は「～もまた」、③「all」は「すべて」という意味です。

10.

解答 ③

【解説】

正解は③「until」で、「～まで（ずっと）」という意味です。ある行動や状態が、ある時点まで継続することを表します。①「by」は「～までに（は）」という期限を表すので、継続のニュアンスはありません。②「for」は期間の長さを、④「since」は起点を表します。

11.

解答 ②

【解説】

正解は②「～の上方に」です。「over」は、何かに接触せず、その上の方にある位置関係を表します。アーチ状に覆うようなイメージです。④「～の上に（接して）」は on を使うのが一般的です。

12.

解答 ③

【解説】

正解は③の「all」で、「すべての」という意味です。通常、後ろには複数形の名詞が続きます。例えば「all students」は「すべての生徒たち」となります。①「every」も「すべての」ですが、後ろには単数形の名詞が続くのが大きな違いです。

13.

解答 ②

【解説】

正解は②「役に立つ」です。「useful」は、何かをするのに助けになる、便利な状態を表す形容詞です。「use（使う）」と「ful（～でいっぱい）」が合わさった言葉と覚えると分かりやすいです。①「無駄な」は useless、③「簡単な」は easy、④「高価な」は expensive です。

14.

解答 ④

【解説】

正解は④の「warm」で、「暖かい」という意味です。暑すぎず寒すぎない、心地よい温度を表します。他の選択肢は、①「hot」が「暑い」、②「cool」が「涼しい」、③「cold」が「寒い」という意味です。

15.

解答 ④

【解説】

正解は④「later」で、「あとで」という意味です。今より後の時点を表します。「See you later.（またあとでね）」という挨拶でよく使われますね。他の選択肢は、①「soon」が「すぐに」、②「now」が「今」、③「before」が「前に」という意味です。

16.

解答 ④

【解説】

正解は④「お気に入りの」です。「favorite」は、たくさんあるものの中で「一番好きな」という気持ちを表します。例えば「my favorite song」は「私の一番好きな歌」となります。①「有名な」は famous、②「特別な」は special、③「人気のある」は popular を使うのが一般的です。

17.

解答 ①

【解説】

正解は①「良い」です。「good」は人、物、天気など、様々なことに対して使える基本的な形容詞です。②「悪い」は bad、③「大きい」は big、④「新しい」は new となり、それぞれ反対語や異なる性質を表します。

18.

解答 ②

【解説】

正解は②「たぶん」です。「maybe」は、確信はないけれど、そうかもしれないと思うときに使う副詞です。①「いつも」は always、③「決して」は never、④「本当に」は really を使うのが一般的です。

19.

解答 ④

【解説】

正解は④「～しなければならない」です。「must」は、強い義務や必要性を表す助動詞です。①「～すべきである」は should、②「～できる」は can、③「～かもしれない」は may を使うのが一般的で、それぞれ義務や可能性の強さが異なります。

20.

解答 ④

【解説】

正解は④「とても」です。「so」は接続詞として「だから」という意味もありますが、形容詞や副詞の前に置かれて「とても」と強調する働きもします。①「しかし」は but、②「だから」は接続詞の so、③「そのように」も so の別の使い方です。

21.

解答 ②

【解説】

正解は②の「short」で、「(長さが) 短い」や「(背が) 低い」という意味です。①「long」の反対の言葉です。他の選択肢は、③「low」が「(位置が) 低い」、④「small」が「(大きさが) 小さい」という意味で、それぞれニュアンスが違います。

22.

解答 ②

【解説】

正解は②「よく、しばしば」です。「often」は、物事を行う頻度を表す副詞の一つです。①「いつも」は always、③「ときどき」は sometimes、④「決して～ない」は never を使うのが一般的で、それぞれ頻度の度合いが異なります。

23.

解答 ④

【解説】

正解は④「again」で、「もう一度」や「再び」という意味です。同じことを繰り返すときに使います。他の選択肢は、①「once」が「一度」、②「before」が「以前に」、③「next」が「次に」という意味です。

24.

解答 ④

【解説】

正解は④「～のために」です。「for」は、何かがある人や目的の方向へ向かっているイメージを持つ言葉です。そこから「～のために」や「～にとって」などの意味で使われます。①「～から」は from、②「～と」は with、③「～の」は of です。

25.

解答 ④

【解説】

正解は④「dark」で、「暗い」という意味です。光が少ない状態を表します。他の選択肢は、①「bright」や②「light」が反対の「明るい」、③「deep」が「深い」という意味です。

26.

解答 ①

【解説】

正解は①「速い、速く」です。「fast」は、人や乗り物などの「速度」が速いことを表します。②「遅い」は slow、③「(時間が) 早い」は early を使うのが一般的です。④「簡単な」は easy です。

27.

解答 ②

【解説】

正解は②「～するとき」です。「when」は疑問詞として文の先頭で「いつ」という意味で使われますが、文の途中で二つの文をつなぐ接続詞として「～するとき」という意味でも使われます。①「いつ」は疑問詞としての意味、③「もし～ならば」は if、④「～だけれども」は although です。

28.

解答 ③

【解説】

正解は③「そこに、あそこに」です。「there」は、話し手から少し離れた場所を指す副詞です。「There is a book.」のように文の最初に使う「～がある」という意味とは区別しましょう。①「ここに」は here、②「どこに」は where です。

29.

解答 ②

【解説】

正解は②の「slow」で、速度が「遅い」ことを表します。④の「fast」の反対の言葉です。他の選択肢は、①「late」が時間に「遅れた」、③「early」が時間が「早い」という意味です。

30.

解答 ①

【解説】

正解は①「～で」です。「by」は、「～（という手段）で」という意味で、特に交通手段を表すときによく使われます。「by bus（バスで）」「by train（電車で）」のように使います。

31.

解答 ④

【解説】

正解は④「～と一緒に」です。「with」は、誰かと一緒にいることや、何かを持っている・使っていることを表す前置詞です。①「～なしで」は without、②「～のために」は for、③「～の代わりに」は instead of を使うのが一般的です。

32.

解答 ①

【解説】

正解は①「will」で、「～だろう」という未来の予測や、「～するつもりだ」というその場で決めた意志を表す助動詞です。他の選択肢は、②「can」が「～できる」、③「may」が「～かもしれない」、④「must」が「～しなければならない」という意味です。

33.

解答 ④

【解説】

正解は④「～できた」です。「could」は、「～できる」という意味の助動詞「can」の過去の形です。過去に何かが出来た、という能力を表します。①「～できる」は can、②「～するつもりだった」は would、③「～すべきだった」は should have を使うのが一般的です。

34.

解答 ①

【解説】

正解は①「everyone」で、「みんな、だれでも」と人々を指す言葉です。②「everything」は「すべてのこと、もの」、③「someone」は「だれか」、④「anyone」は疑問文などで使われる「だれか」です。

35.

解答 ③

【解説】

正解は③「still」で、「まだ、今でも」という意味です。ある状態や行動が続いていることを表します。他の選択肢は、①「yet」が疑問文や否定文で「まだ」、②「already」が「すでに」、④「just」が「ちょうど」という意味です。

36.

解答 ②

【解説】

正解は②の「bad」で、「悪い」という意味です。①の「good」の反対の言葉です。他の選択肢は、③「sad」が「悲しい」、④「busy」が「忙しい」という意味です。

37.

解答 ②

【解説】

正解は②「but」で、「しかし」や「でも」という意味です。前に述べたことと反対のことや、予想外のことを言うときにつなぎ言葉として使います。他の選択肢は、①「and」が「そして」、③「or」が「または」、④「so」が「だから」という意味です。

38.

解答 ③

【解説】

正解は③「なぜなら～だから」です。「because」は、理由や原因を表す文を導く接続詞です。「Why? (なぜ?)」と聞かれたときの答えによく使われます。①「もし～ならば」は if、②「～だけれども」は although、④「～するとき」は when を使うのが一般的です。

39.

解答 ②

【解説】

正解は②「難しい」です。「difficult」は、理解したり、行ったりするのが簡単ではないことを表します。①「簡単な」は easy、③「おもしろい」は interesting、④「新しい」は new です。

40.

解答 ①

【解説】

正解は①「晴れた」です。「sunny」は、太陽(sun)が出ている天気を表す形容詞です。②「曇った」は cloudy、③「雨の」は rainy、④「雪の」は snowy となります。

41.

解答 ③

【解説】

正解は③の「also」で、「～もまた」と付け加えるときに使う副詞です。動詞の前や be 動詞の後ろに置くことが多いです。①「too」も同じ意味ですが、文の最後に置くのが一般的です。②「either」は否定文で「～もまた～ない」というときに使います。

42.

解答 ②

【解説】

正解は②「if」で、「もし～ならば」と条件を表すときに使う接続詞です。他の選択肢は、①「when」が「～するとき」、③「because」が「なぜなら～だから」、④「that」が「～ということ」という意味です。

43.

解答 ①

【解説】

正解は①「より良い」です。「better」は、「良い」という意味の「good」の比較級で、二つのものを比べて「こちらのほうが良い」と言うときに使います。②「良い」は good、③「最も良い」は best、④「悪い」は bad です。

44.

解答 ②

【解説】

正解は②「自分自身の」です。「my」や「your」などの所有を表す言葉の後ろに置いて、「～自身の」と強調する働きをします。「my own room」で「私自身の部屋」となります。

45.

解答 ④

【解説】

正解は④「～のそばに」です。「beside」は、すぐ隣の位置関係を表す前置詞です。①「～の後ろに」は behind、②「～の前に」は in front of、③「～の間に」は between を使うのが一般的です。

46.

解答 ④

【解説】

正解は④「tonight」で、「今夜」という意味です。他の選択肢は、①「today」が「今日」、②「tomorrow」が「明日」、③「yesterday」が「昨日」という意味です。

47.

解答 ①

【解説】

正解は①の「hungry」で、「空腹な、おなかがすいた」という意味です。他の選択肢は、②「thirsty」が「のどが渴いた」、③「sleepy」が「眠い」、④「full」が「満腹の」という意味です。

48.

解答 ②

【解説】

正解は②「～の」です。「of」は、所属や所有、部分などを表すときに使われる前置詞です。「A of B」で「B の A」というように、後ろから前の言葉を説明する形で使われることが非常に多いです。①「～と」は with、③「～で」は at や in、④「～へ」は to が一般的です。

49.

解答 ③

【解説】

正解は③「～と…」です。「and」は、言葉と言葉、文と文などを対等な関係でつなぐ接続詞です。①「～か…か」は or、②「しかし」は but、④「だから」は so を使うのが一般的です。

50.

解答 ③

【解説】

正解は③「**best**」で、「最も良い」という意味です。「**good**」の最上級で、三つ以上のものの中で「一番良い」と言うときに使います。他の選択肢は、①「**good**」が「良い」、②「**better**」が「より良い」、④「**most**」は他の形容詞とくっついて最上級を作ります。
